

発行：山形県舟形町議会
平成29年10月27日



老若男女を問わず 大奮闘で汗を流す 町スポーツフェスティバル



新スポーツの「スポーツ吹き矢」に挑戦

9月定例会概要・質疑応答……………	2 P
決算審査特別委員会概要・監査意見書……	5 P
決算審査特別委員会質疑応答……………	6 P
町政を問う 一般質問に4議員……………	8 P
請願・陳情審査結果・意見書……………	13 P
議会活動……………	14 P
えがったなあ・町民の声・編集後記……………	16 P

平成28年度決算を認定

総額74億9895万円

9月定例会は、8日間の日程で開催し、4人の一般質問に続き、28年度各会計の決算7件、29年度各会計補正予算4件、条例の設定1件、条例の一部改正2件、請負契約の締結1件等、17件について審議し、すべてを原案通り可決しました。

平成29年度 主な補正予算

- ※ 財政調整基金に積立…………… 1億5000万円
※ 財政調整基金とは、年度間の財源不足に備えるため、決算余剰金(余剰金の1/2以上)などを積み立て、財源が不足する年度に活用する目的の基金です。
- ・ 元気・舟形ふるさとづくり
 応援基金に積立… 1422万円
- ・ 住民基本台帳システム
 改修委託料…………… 253万円
- ・ 若あゆ温泉ポンプ修繕料…………… 266万円
- ・ 若あゆ温泉大規模改修時
 管理委託料…………… 900万円
- ・ 芝刈り機購入費…………… 67万円
- ・ 伊藤茂未来を拓く基金積立金… 1000万円
- ・ 舟形小学校防火シャッター
 修繕料…………… 79万円
- ※ 病児保育負担金…………… 84万円
※ 病児保育事業とは、急な発熱や病気で保育所での集団保育を利用できないお子さんを、保護者に代わって看護師と保育士が一時的にお預かりする事業。

主な審議された議案

9月定例会

- 平成29年度各会計補正予算 4件
- 伊藤茂未来を拓く基金条例の設定
- 舟形町特別職の職員給与の一部改正
(鳥獣被害防止対策実施隊員への報酬を新たに設定)
- 舟形若あゆ温泉各種施設の使用料の改正
- 平成28年度各会計決算の認定 7件
- 舟形若あゆ温泉大規模改修工事
 請負契約の締結
(契約の相手方 (株)沼澤工務店)

議案48号

舟形中学校「未来を拓く文庫」図書整備のために

伊藤茂未来を拓く基金を創設



伸びゆく子どもたちに活用が期待される基金

名誉町民 故伊藤茂氏(元運輸大臣)の遺言により、舟形中学校の図書整備費として500万円の寄附がありました。町ではこのたび500万円を加え、生徒の読書推進を図りながら、伊藤茂氏に続く子どもたちを育てるため「伊藤茂未来を拓く基金」を創設しました。

議案49号

舟形町鳥獣被害防止対策実施隊の 隊員への報酬を定めました

鳥獣による農林水産業等の被害を防止するため、舟形町鳥獣被害防止対策実施隊を設置し、舟形町猟友会会長の推薦を受けて町長が任命する隊員の報酬について、条例で定めました。



実施隊の研修と活動

問 指定される鳥獣の種類は?

答 ツキノワグマ・イノシシ・ニホンザル・ハクビシン・ハシブトガラス・ハシボソガラス・タヌキ・ノウサギ・ヒヨドリ・カワウ・サギ類です。

問 実施隊の人数と報酬は?

答 実施隊員は、舟形町猟友会の全会員23名です。報酬は年額2000円です。出勤時に時給1000円が別途支給されます。

若あゆ温泉

議案50号

入浴料金 (大人) 350円 → 380円

議案51号

大規模改修工事 6,133万円 (税込)



皆様に愛された大浴場

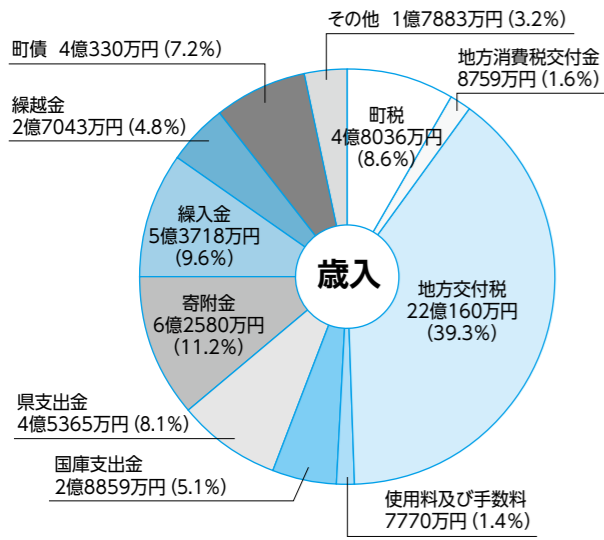
6月定例会での、舟形町振興公社経営状況の報告において、昨年度、オープン以来初の赤字となったとの報告がありました。

今定例会では、平成5年から据え置いてきた入浴料金をはじめとする、各施設の使用料金を値上げする内容の条例を可決しました。(議案50号)

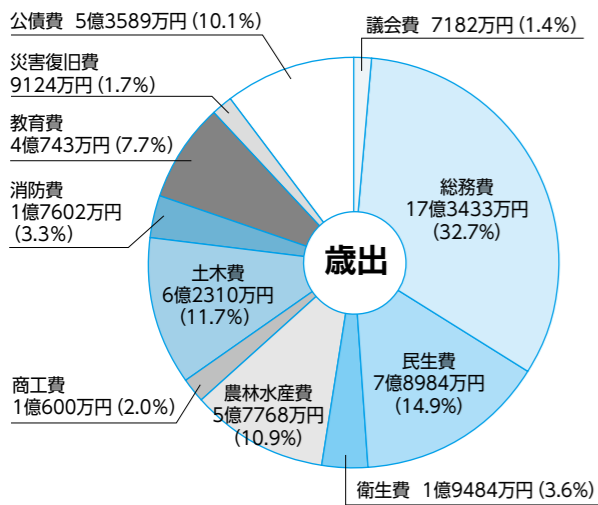
また、浴場の大規模改修工事の契約の締結についても可決され(議案51号)、10月2日より若あゆ温泉は休業となり、工事が進められています。

一般会計

歳入 (56億503万円)



歳出 (53億819万円)



歳入歳出差引額 2億9684万円

施策の周知を図り 住民福祉の向上をむりに進めよ



齋藤 好彦 委員長

平成28年度決算審査は、会期中の9月7日から11日まで決算審査特別委員会を設置し、委員長に齋藤好彦総務振興常任委員長、副委員長に佐藤広幸文教民生常任委員長を選任し、一般会計及び6特別会計を慎重に審査しました。

決算審査特別委員会

特別会計

会計別	歳入額	歳出額
国民健康保険事業	8億2014万円	7億2942万円
後期高齢者医療事業	6667万円	6464万円
介護保険事業	7億4748万円	6億6011万円
簡易水道事業	3億5418万円	3億1637万円
農業集落排水事業	2億3079万円	2億2668万円
公共下水道事業	1億9729万円	1億9354万円
合計	24億1655万円	21億9076万円

監査意見書

渡邊 敬子 代表監査委員

決算関係書類を審査した結果、決算係数はいずれも符合し、誤りの無いことを確認いたしました。また、財政健全化法に基づく判断比率の算定は適正であり、各項目とも基準を下回り、財政は健全であると認められます。

収入未済額は、4999万円あり、うち、不納欠損額は前年度に比べ、約2倍の613万円でした。納税義務の公平性に鑑み、滞納繰越を無くし、不納欠損を食い止める努力をしてください。

業務処理のIT化が進み、システム管理経費が毎年4000万円を超えています。システムを有効に活用し、また個人情報の管理についてもセキュリティに十分配慮してください。

各業務に対し単純ミスと再発防止に努めていただくよう要望いたします。複数の目を通す習慣を基本とし、町民目線で物事を見、考え、わかりやすい言葉で説明し、町民から「信頼」される行政となるよう希望いたします。

質 答 応 疑

9月定例会

平成29年度一般会計補正予算

議員 以前鞍馬大会が行われていた場所、商工会青年部主催で人間ばん馬大会が開催された。この場所は、河川公園管理事業で管理されていないが、今後も荒らしたままにしておくのか。

町長 その場所は委託管理の範囲外となっています。商工会青年部にも確認を取り、今後も人間ばん馬大会が開催されるのであれば、費用対効果も含めて管理をしていくかどうかを検討します。



商工会青年部で草刈りを行い開催された人間ばん馬大会

議員 舟形町総合戦略推進事業の講師謝礼が全額減額されているが、その理由は。

まちづくり課長 今年度から始まる「住民主体の地域づくり推進事業」を進めるにあたり、指導を仰ぐ専任の講師を予定していましたが、必要な場合に講師を依頼する方針に変更したためです。

議員 なぜ、*コミュニティ助成事業補助金250万円が減額されているのか。

*コミュニティ助成事業とは…(財)自治総合センターが宝くじ社会貢献広報事業として、コミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備に対して助成を行う事業。

まちづくり課長 当初2町内会がこの事業に申請をしていたため、2町内会分の予算を計上していましたが、1町内会のみ採択となったため、減額しました。

議員 舟形町行方不明者捜索活動実施要綱による災害扶助費20万円の内容は。

住民税務課長 行方不明者の捜索活動を行なった際、遭難した方または捜索救助を依頼した方が、生活保護者世帯や住民税非課税世帯であった場合に、人件費や食料費等の捜索費用を上限20万円まで助成するものです。

議員 病児保育事業での広域料金負担金と、その事業内容は。

健康福祉課長 現在、新庄市では「オープンハウスこんべいとう」に病児保育事業を委託しています。このたび、町でも10月から同様に委託を行うこととなり、この事業費にかかる当町の負担金です。病児保育は、全体で数名の受け入れ枠がありますが、新庄市民と同条件での利用が可能となります。



子育て世代の負担軽減に寄与する「オープンハウスこんべいとう」

質 疑 応 答

一般会計 歳入

議員 最上広域分担金過年度分還付金424万4千円は、これまで払い過ぎていたから還付されたのか。

総務課長 27年分のリサイクル品の売払清算金132万5千円と、分担金の清算金291万9千円です。1年ごとに精算され、分担金を多く支払っていた場合には還付されます。

議員 不動産売却収入は470万円の予算を計上していたが、収入は0円である。どこを見込んでいたのか。

総務課長 内山の宅地分譲地を予定し予算化していましたが、28年度は売却がありませんでした。



29年度に1区画売却された内山の宅地分譲地

議員 旧堀内小跡地の管理と企業誘致について

まちづくり課長 草刈り等を行い、地域のイベントにも活用できるように管理しています。

町長 企業誘致については、県をはじめ多方面にお願いし、引き続き進めていきます。

議員 除雪機械格納庫の建設予定地が変更されたことで、測量・設計業務委託料が無駄になったのではないのか。

町長 光生園跡地に建設する予定で測量調査を実施しましたが、建設地としては不適切との結果になりました。その結果を受けて、公共下水道処理施設敷地内に変更となりました。測量調査の結果であり、やむを得ないことと考えています。



変更になった除雪機械格納庫建設予定地

歳出

議員 民生児童委員の担当世帯が100世帯以上になると負担が大きいのと思われるが、配置はどうなっているのか。

健康福祉課長 担当する世帯数がいけば多い方で112世帯、少ない方で27世帯と、担当世帯数にはばらつきがあります。仕事の内容は多岐にわたっており大変かとは思いますが、定例会で情報交換や研修会などを行なっています。

議員 鍼灸マッサージサービス事業で、申請者が104名、利用が17件と数字に開きがあり過ぎるが、なぜか。

健康福祉課長 65歳以上の希望者に配布していますが、使用しなくても申請があること、新庄最上鍼灸マッサージ師会の会員となっている7箇所の施設所でしか使用できず、町内には利用できる所がないためと考えます。

議員 空き家対策事業で、解体補助金200万円が使われていないのはなぜか。活用してもらうために補助要綱を見直す考えはないのか。

町長 現行制度は非課税世帯が対象のため使われていないが、遅くとも30年度の予算に反映できるように要綱を見直していきます。

議員 舟形放課後若あゆ塾が開校しての成果と、今回の全国統一試験結果はどうだったのか。

教育長 28年度は中学生を対象に数学について実施しました。統一試験の結果、数学は平均値を下回りましたが、国語は好成绩となりました。引き続き、塾の充実強化を図り、学力向上に結びつくよう努力したいと思います。

議員 28年8月に発生した豪雨によって、洪水・土砂崩れ等の災害が発生したが、その復旧工事は28年度中に完了したのか。

地域整備課長補佐 28年度中は積雪等の影響もあり工事はあまり進捗しませんでした。現在、大畑山の次年子と舟形の境の部分の農地が1箇所未完成、堀内川の太持橋が決壊した先の農地2箇所が未完成です。護岸の一部と太持橋の橋台は完成していますが、橋の上部は未完成です。

議員 富田の桜づつみ堤防の管理・除草は何回行なっているのか。

まちづくり課長 管理については、害虫防除と肥料散布をしています。除草は、富田と堀内の河川愛護団体が年2回実施しています。



喜寿・古希会員のみなさんと楽しく鏡開き

議員 舟形町東京友の会運営費補助金20万円は、これまでも支出していたのか。

総務課長 補助金については28年度からの事業です。以前は交際費からご祝儀として10万円を支援してきましたが、近隣市町村の状況を踏まえて、金額を増額し、補助金として支出することにしました。

議員 健康増進事業の弁護士謝礼金の内容は。

健康福祉課長 社会福祉協議会と共同で、「弁護士による困りごと相談」にそれぞれ6万円を支出し、年6回実施しています。



憩いの場として期待される桜づつみ

農業集落排水事業特別会計

議員 事業収入に対して、公債費の支出が大きい。公債費の償還のピークは過ぎたのか。

※公債費とは…町の借金の返済にかかるとるお金

総務課長 31年度が償還のピークとなっています。

町長 下水道を普及させるための国の制度を受け、短期間で整備をしたために公債費の額は大きくなっていますが、負担が大きくならないような借り換えを行なっています。一般会計に負担がかからないような経営していきます。



奥山 謙三 議員

舟形町史、文化遺産等を活用した地域活性化策を問う

活用しながら、いきいきとしたまちづくりに努力する



地域の良さを再発見するため活用を期待

質問 自分が住んでいる地域の歴史、文化遺産を知ることは地域への愛着心を高めることにつながるものと考えます。地域の歴史、文化遺産等を伝えるための人材登用と育成、また保育園、小学校、中学校、町民の方々に知ってもらうための方策についての考えは。

町長 後継者については、育成を目的に「縄文体験講座」「大人塾」「地域学講座」を実施し、広く学習の機会を設けています。小学校3・4年の社会科の授業や総合学習で、縄文や町の歴史と文化を取り上げ、歴史に精通した方を授業に派遣しています。中学校では、全員で縄文に関する学習をし、座学だけでなく、「縄文炎祭」へ協力しています。町の歴史や文化遺産などを活用し、いきいきとしたまちづくりに努力していきます。

質問 地元の遺産・遺物について学習会を開催する場合、説明してくれる人材の派遣は可能か。

教育長 文化財保護委員は8名いるので、要望があれば派遣できます。

質問 「舟形町の文化遺産」の冊子を町内会ごとにまとめられないか。

町長 文化財保護委員と検討してみます。

全地区にほ場整備を進めよ

地区ごとの話し合いの場を町が設ける

質問 町では全町にほ場整備を進めることが急務であります。特に上長沢地区、堀内地区を重点的に進める必要があると思えます。この地区の後継者育成と併せて、全地区への整備の進め方について、どのような対応を考えているのか。

町長 農家の方が将来の



小松・長者原地区

農業についてどうしたいのか、どうしていくべきなのかを主体的に考えてもらうことが大切だと思います。上長沢、堀内地区でのこれまでの取り組みは、地区ごとに実施する農業対策座談会や町内会単位の意見交換会を通して、ほ場整備の必要性の周知に努めてきました。これまでは地域から要請を受けて説明会を行なってきましたが、適宜話し合いの場を設け、まずは

取っ掛かりを町が作り、全町的にほ場整備を進めていきます。

質問 今年度から実施する、町内会ごとの将来像作成を行う事業の中に、このことも含めてほしい。

町長 地域の困り感の中で話し合いを進めたいと考えます。

町政を問う

一般質問に4人が登壇

一般質問とは

定例会において、各議員が住民の代表として行財政全般にわたり町当局の考え方や疑問をたずねることです。単に疑問を晴らし事実関係を明らかにするだけでなく、現行政策の見直し、新規政策を提言する、議員の重要な活動です。

奥山 謙三 議員

9ページ

- 1 舟形町史、文化遺産等を活用した地域活性化策を問う
- 2 全地区にほ場整備を進めよ

伊藤 欽一 議員

11ページ

- 1 旧長沢小学校グラウンド活用について

斎藤 好彦 議員

10ページ

- 1 国宝「縄文の女神」の常設展示を
- 2 町民のための町営バスの在り方を

石山 和春 議員

12ページ

- 1 減反廃止に向けどう守る農業・農地



「山形県眺望景観資産」に指定されている若あゆ温泉からの絶景



齋藤 好彦 議員

国宝「縄文の女神」の常設展示を 必ずや実現するよう努力する

【質問】 西ノ前遺跡公園「女神の郷」の開園を待っていたかのように、現在、山形市では霞城公園整備計画を進めており、公園内にある県立博物館の移転整備が検討されています。この機会に「国

宝」の永久的な里帰りについて、町民・町・最上圏域が一体となった誘致運動を展開し、出土地での常設展示による観光産業振興の一助にすべきと思います。町長の考えを伺います。

い、その誇りと愛郷心は人口の増加や最上地域のインバウンドにつながるものと考えます。今後、舟形町のみならず最上地域全体の気運を醸成し、最上地域における文化財の保護及び活用の拠点として、私も縄文文化の知識を深め、必ずや「縄文の女神」が里帰りできるよう努力していきます。



利用者が多い「温泉行」町営バス



移転が検討されている「県立博物館」

【町長】 「国宝」の誘致運動については、平成26年11月に最上総合支庁長等との意見交換会の折、町から「県立博物館の分室または埋蔵文化財センターの分室的なものを整備」してほしいという提案要望から始まっており、その後も様々な形、方法で県知事あてに要望書を提出しております。

【質問】 近年の車社会への変容に加え、人口減少などを考慮すれば、町営バス利用者の減少は当然のことであり、利用者が少ない中で町の町民のための運行形態を考えるべきで

【町長】 昨年実施した利用目的調査では、舟形診療所への受診、若あゆ温泉、金融機関へ行くなどの理由が多くありました。そうした利用件数も、全体的には減少しているのが現状です。

こうした状況を踏まえ、長沢方面においての乗合タクシ-運行を計画

町民のための 町営バスの在り方を

長沢方面の
乗合タクシ-運行を計画

【質問】 閉校後の校舎は、リングロー(株)がパソコンやスマートフォンに関する何でも相談や修理販売を主体に営業し、住民の皆さんが自由に利用できる部屋を設けた、長沢集学校として開校しました。しかし、グラウンドは長沢第三町内会と長沢地区交流会で使用しているだ

けのようです。若あゆ温泉公園のグラウンドゴルフ利用状況を調査したところ、昨年度は一般の方で714人、グラウンドゴルフ協会で303人でした。今年も利用が多く、予約が取れなくて大会を變更した町内会もあったようです。グラウンドに芝を張り、大会の開催だ

けでなく、住民の皆さんの憩いの場として活用ができるよう整備し、交流人口の増加を図ることで地域の活性化が促進できると思いますが、町長の考えを伺います。



小学生も参加し楽しんだ長沢交流事業

旧長沢小学校グラウンド活用について

総合的な公共施設の在り方の検討が必要だが支援はする



伊藤 欽一 議員



長沢第3町内会のスポーツ大会

また、若あゆ温泉グラウンドゴルフ場については、子供の遊具も設置され、利用についてはちょっとした気遣いが必要な場所になっており、そうした場所ができれば、代替地としても活用できる

ものと思います。今後、こうした整備を町が実施する場合は、地域での必要性や、活用する団体での維持管理ができるかどうかの判断が一番必要であり、地域からの要望があれば、地域や利用団体がどんな体制で維持管理運営をしていくのかを踏まえた調査や、意向調査が必要であると思えます。町では今日まで様々な公共施設を整備

してきましたが、老朽化に伴う長寿命化対策や統合により合理化を図るなど対策を講じてきていますが、課題が山積しております。そうした中で新たに取組む事業については、総合的な公共施設の在り方も踏まえた検討も必要ですが、支援はしていきたいと考えています。



石山 和春 議員

減反廃止に向けどう守る農業・農地

財源確保を重視し対策を講じる

質問 地域経済を立て直すにあたり、基盤産業である農業が果たす役割は非常に大きいものと思います。40年以上続いた減反政策が廃止され、当然、戸別所得補償もなくなります。我々が伝統的に大切にしてきた、助け合い、支

え合う、安全・安心な地域社会の崩壊が懸念されます。町農業再生協議会では、水田フル活用ビジョンを策定し、当初予算でも、園芸農業スタートアップ支援事業、農業農村整備事業等、積極的に対策を講じていますが、離農者が増加しているのも事実です。

農地中間管理機構の昨年から集積実績を伺います。また、非効率な中山間地域の農地は借手もなく、荒廃していくのは必然であり、今後どのような対策を考えているのか伺います。



荒廃が進む農地



色彩豊かに育つ花き栽培

農地中間管理機構の昨年から集積実績を伺います。

また、非効率な中山間地域の農地は借手もなく、荒廃していくのは必然であり、今後どのような対策を考えているのか伺います。

町長 これまで国における米政策の経過として、国が市町村を通じて、米を生産してはいけない面

積を配分していました。食管法の廃止に伴い、減反政策に変えて、行政による生産数量目標を示し需給を調整する政策をとってきたところです。

農地中間管理機構の平成28年度の実績は、新規貸付希望者数28人、新規借受希望者数15人、面積で30.8 haであり、マッチングに至った面積は27.3 haです。

また、ご指摘のとおり、米の直接支払交付金である10 aあたり7500円については、今年限りで決定されており、農業所得減少、離農の加速化が懸念されるところです。

検討を重ねています。また、町では、農政座談会を活用して情報の提供に努めていきます。

荒廃農地を防止していく政策の一つとして、ほ

場整備事業があります。大区画化による生産性の高い農地を整備していくことが、スピード感ある政策と考えます。

中山間地域における直接支払制度を実施し、29年度は29団体、交付金額5139万2千円です。

多面的機能交付金事業でも2826万8千円です。財源確保を重視しながら対策を講じたいと考えています。

請願・陳情

9月定例会で審査した請願・陳情は次のとおり。

●平成30年産以降の米政策の見直しに関する件

採択

請願者 新庄もがみ農業協同組合

代表理事組合長 安食 賢一

新庄もがみ農協農政対策本部

本部長 安食 賢一

●地方財政の充実・強化を求める請願

採択

請願者 連台山形新庄最上地域協議会

議長 矢口 昌博

●「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情

採択

陳情者 全国森林環境税創設促進議員連盟

会長 板垣 一徳

意見書

今期採択の請願・陳情についての意見書を政府、関係機関に提出しました。

●平成30年産以降の米政策の見直しに関する意見書(要旨)

平成30年産以降の米政策の見直しについては具体的な仕組みや必要な関連施策等が明らかにされておらず、生産現場には不安と動揺が広がっている。

米の需給と価格の安定は、生産者・消費者双方にとって重要であり、平成30年産以降においても、国民の主食である主食用米の生産を競争原理に委ねることなく、行政の積極的な関与と指導のもと、全ての産地・生産者・集荷業者等によるオール日本・オール山形・オール市町村で需給調整に取り組んでいく必要があるため、国及び政府に強く要望する。

●地方財政の充実・強化を求める意見書(要旨)
地域に必要とされる公共サービスを提供するため、2018年度の政府予算、地方財政の検討にあたっては、国民生活を犠牲にする財政とすることはなく、歳入・歳出を的確に見積もり、地方財政を充実・強化することが求められるため、国及び政府に強く要望する。

●全国森林環境税の創設に関する意見書(要旨)

森林が多く所在する山村地域の市町村においては、木材価格の低迷や林業従事者の高齢化・後継者不足に加え、急速な人口減少など、厳しい情勢にあるほか、市町村が、森林吸収源対策及び担い手の育成等山村対策に主体的に取り組むための恒久的・安定的な財源が大幅に不足している。

山村地域の市町村による森林吸収源対策の推進や安定した雇用の場の確保などの取り組みは、地球温暖化防止のみならず、国土の保全や地方創生等にもつながるものであり、そのための市町村の財源の強化は喫緊の課題であるため、国及び政府に強く要望する。



刈り取り適期を迎えた収穫作業

事業の効果を検証

総務振興常任委員会

1 期 日 平成29年6月20日(火)

2 調査内容(現地調査)

(1) 有限会社 舟形マッシュルーム

①平成28年度「元気な6次産業応援プロジェクト事業」
 ・総事業費 4800万円
 ・補助金 1585万円
 本事業は農業の六次産業化を目指し、地域で生産した商品を調理し、販売することを目的とした事業である。この事業を活用し、産直レストラン「マッシュルームスタンド舟形」を開店し、マッシュルームの販売やマッシュルーム料理の提供を行っている。



交流人口の増加が期待される産直レストラン「マッシュルームスタンド舟形」

②臭気対策
 培地製造所から発生する臭気対策として、平成28年11月より消臭噴霧装置を導入し対応している。今後の対応等について近隣の経壇原及び一の関町内会の町民に対し文書を配布し、取り組みに対する周知を図っていた。

【所感】

有限会社舟形マッシュルームが企業として大きく成長し、町の産業を代表する会社になったことは、喜ばしいことである。しかし、臭気についての課題があり、今後とも委員会として注視したい。



町から支援を受けた見事なアスパラガスのほ場

(2) 園芸作物支援事業

平成27年度に戦略的園芸産地拡大支援補助金を活用し、24aのほ場にアスパラガスを定植したほ場を視察した。平成28年度から出荷を始め、出荷1年目は出荷数量2.3トン・販売額は200万円の実績であった。

【所感】

1年目で2.3トンの出荷は目標以上の実績である。町としてもアスパラガスを奨励しており、2年目以降も出荷に期待したい。

1 期 日 平成29年7月13日(木)

2 調査内容(現地調査)

(1) ほへみ保育園

今年度より、舟形町社会福祉協議会へ保育業務を委託し、保育士のほとんどが社会福祉協議会の正職員となった。数カ月経過した状況について説明を受けた。

【所感】

ア. 舟形小学校との連携も順調に進んでいるとのこと、一貫教育の目的達成に一步步進んでいると感じた。

イ. 本年度から社会福祉協議会の職員になったことで、個々で課題を見つけ意見を出しやすくなるなど、良い方向に改善されていると感じた。

(2) 舟形中学校

①校長先生と意見交換

教育内容や方針、いじめについての意見交換を行なった。

②日本の給食事業の視察

新たな事業として、今年度から日本一の給食事業が始まった。生産者が学校に赴き、講師として食材の生産の説明を行い、生徒と一緒に給食を食べるといいう取り組みが行われていた。

【所感】

ア. 毎週水曜日に読み聞かせを行っている。中学校で読み聞かせを行っているのは最上管内では舟形中学校のみであり、独自性が出ていた。

イ. いじめについては、相手に「いじめだ」と言われればいじめになってしまうので、慎重な対応を行っていた。



耐震工事が完了し安心して使えるようになった中央公民館

事業計画を確認

文教民生常任委員会

1 期 日 平成29年6月22日(木)

2 調査内容(平成29年の事業概要の説明)

(1) まちづくり課

①デマンドバス計画について

(2) 健康福祉課

①地域福祉計画(地域福祉力の向上)

②ふながた健康21(健康寿命の延伸)

③介護保険事業計画(地域包括ケアシステムの実現)

④障がい者福祉計画(障がい者の自立と社会参加の実現)

⑤子ども子育て支援計画(総合的な支援体制の構築)

(3) 教育委員会

①就学前教育(保育所設置事業)

②学校教育(ヴィーナプラン)

③生涯教育(生涯学習の活性化、青少年の健全育成)

(4) 現地調査

縄文の女神記念公園「女神の郷」

多くの来園者に期待

「女神の郷」開園式



多くの来園者に期待「女神の郷」開園式

ウ. 日本一の給食の提供に向けて、地産地消で、生産者の顔が見える、安全な朝採り野菜を使用することで、食への関心が高まり、また愛郷心につながるものと感じた。

エ. 給食時間を利用し、帰りのバスについて空運行しないよう調整していて、たいへん良いことだと感じた。

第9回議会公報告会を開催しました

10月2日に、野公民館と西又公民館において議会報告会を開催しました。当日は19名の方々に参加していただき、ありがとうございました。

9月定例会で認定した、28年度の各会計の決算についての報告を行い、その後、議会活動や町の事業についての意見交換を行いました。参加された皆さんからいただいたご意見やご提言を、今後の活動に生かしていきます。



野公民館



西又公民館



今回は、沖の原の海藤 啓さんと結婚した、新庄市出身の萌(旧姓：長沼)さんです。皆さんよろしくお願いします。

♥どんなきっかけで知り合いましたか？

羽陽短大で出会い、友だち伝いで話し始め、飲み会に誘ってくれるようになったのがきっかけです。見た目は怖いのに、とても優しいところに惹かれていきました。

♥嫁いできて、舟形町での生活はどうですか？

子どもの健診がきっかけで、知り合いのママができて、とてもうれしいです。若鮎まつりや人間ばん馬などイベントがたくさんあり、楽しく過ごさせてもらっています。

旦那はもちろん、お義父さんとお義母さん、お義姉さんもとても優しく、子どもと遊んでくれ、毎日本当に感謝でいっぱいです。

♥舟形町の良いところ・悪いところはありますか？

町内にコンビニがあり、とても良いです。スーパーがあると買い物しやすいかなと思います。

♥舟形町に望むことはありますか？

ふれあい広場やチャイルドランドなど、外で思いきり遊べる場所があっても良いですが、屋内の広い施設があると、もっと良いなと思います。

声

皆さんの声を掲載する欄です。議会に対するご意見・ご要望等、どうぞお気軽にお寄せくださるようお願いいたします。

私は、長沢地区で米とアスパラガスを作っている農家です。

平成30年産から経営安定対策の主食用米への助成金がなくなり、今後の米価水準が不透明な状況の中、水稻農家の経営がますます厳しくなっていくことが懸念されています。それに伴い、水稻農家の廃業と農業従事者の高齢化による離農、担い手不足などで、今後耕作放棄地、遊休農地の増加が予想されます。

舟形町では、ニラ、アスパラガス、ねぎ、きゅうりなどの園芸作物、及び冬期間の促成作物である山菜(ウリイ、タラの芽、コゴミ、ふきのとう、行者にんにく)との複合経営や経営の転換に支援をしています。この支援を利用してもらい、耕作放棄地、遊休農地を増加させることなく、自立する農家が増えることを期待します。農家として自立できれば、後を継ぐ方、新たに就農する方が増え、農地を守れるはず。議会の皆様にも協力していただき、舟形町が未来ある農村になることを期待します。



農業委員
叶内 公直 さん
(長沢第2)

(議会より)
舟形町農業発展のため引き続き、農業委員会、議会が協力して頑張っていきたいと思います。

編集後記

北朝鮮は、8月29日と9月15日に弾道ミサイルを東北東方向に発射しました。「Jアラート」の警報を初めて耳にし、多くの皆さんも恐怖を感じたと思います。今後、鳴らないことを祈るばかりです。

今年全国的に天候不順で災害の激甚化が多く、予期しない所が被害に遭われており、地球温暖化の影響も考えられます。9月9日、10日に開催された若鮎まつりは町内外、県外から21000人の来場者があり、これからの観光客増加に期待しています。

議会では、議会改革特別委員会を立ち上げ、目指すべき議会像についての検討を全議員で進めています。町民の皆さんから多くのご意見をお寄せいただき、議会改革や紙面作りに役立ててまいりたいと思います。(伊藤 欽一 記)

発行責任者

議長 八 欽 太
議会広報常任委員会
委員長 佐 藤 勇一
副委員長 伊 藤 欽 謙
委員 奥 山 三春文
委員 石 山 和浩
委員 小 国 浩